事業番号	09 02 26	事業改善シート(25年度実施事業分)		予算要求 ■	予算案 口点検
事 業 名	試験研究普及費		担	部局	林務部
	四天			課∙室	信州の木振興課
総合5か年 計画	プロジェクト			E-mail	ringvo@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	1-4森林を生かす力強い林業・木材産業づくり			
	旭泉の松石の展開	◆信州の木利用促進 等	5	実施期間	S63 ∼

1 事業の概要

目指す姿 林業総合センターは、長野県の森林・林業に関する唯一の総合的試験研究機関として、森林の造成、木材利用、特用林産の振興等、県民・関連産業界等からの要請に応じた課題、緊急に解決を要する課題等、多様な行政課題に即座に対応するため必要な試験研究等を行う。

成果目標: 県産材の製材品出荷量 現状(H21) 120千m³ → 目標(H29) 184千m³

現状

○林業総合センターとして、今後10年間の試験研究等の方向性を示す「長野県林業総合センターの研究・普及等の取組」を体系化した。

【左記の説明、根拠法令等】

県が関与 する理由 □法令等義務 □内部管理 □県でなければ実施不可 ■民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有

森林・林業に関する唯一の総合的試験研究機関

① 成果目標(H25)

○長野県森林づくり指針、長野県森林づくりアクションプランに目標達成のため、森林・林業の発展について優先順位の高い喫緊の課題に対応した試験・研究や技術開発を推進し、アクションプランの実現に資する。 成果目標:県産材の製材品出荷量 120千㎡(現状) → 140千㎡(H25)

② 事業内容 (単位:千円)

成果目標• 事業内容

項目	実施方法	H25実施内容		H24	H24 H25	
切り カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	天旭刀伝			(当初)	(要求)	(予算案)
計画的な森林整備の推進、災害に強い森林づくりの推進	直接	・高齢化した里山広葉樹林の萌芽等による早期更新技術の開発 ・針葉樹人工林の低コスト更新技術の開発 ・広葉樹有効利用を目指したナラ枯れの低コスト防除技術の開発 ・施業による洪水防止機能への影響評価		12,412	9,891	9,868
特用林産物・森林空間の有効 活用の推進					16,569	16,546
県産材利用の推進		・アカマツの利用開発に関する研究・カラマツ大径材から得られる構造材の乾燥特性及び強度特性の解明・応用接着重ね梁の開発		16,410	9,376	9,314
			合計	45,707	35,836	35,728

	Z	区 分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25要求	25予算案
	_		前年度繰越					
	予算	当初予算		47,990	59,306	45,707	35,836	35,728
事	額	補正予算		-13,465	-19,807	2,527		
業			合計(A)	34,525	39,499	48,234	35,836	35,728
~		国庫支出金		12,000	11,445	33,670	25,599	25,599
⊐	Aσ		県 債					
_	, 財派	亰	その他(繰入金)	13,988	22,221	7,493	4,123	4,070
ス			一般財源	8,537	5,833	7,071	6,114	6,059
١	決	決 算 額(B)		34,299	39,239			
	概 算 職員数(人) 人件費 概算人件費 (C) 概算事業費(B(A)+C)			17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
			概算人件費 (C)	141,389	140,386	140,386	140,386	140,386
			175,688	179,625	188,620	176,222	176,114	

成果目標の達成状況						
項目	現況 (見込)		H26			
グロ		目標	成果	達成状況	目標	
県産材の製材 品出荷量	120千㎡	140千㎡				

要求からの主な変更点

緊急性、優先度等を考慮し、新たな研究に要する経費を減額